

令和6年度 第1回大正区区政会議

令和6年6月13日（木）
午後7時～8時31分
於：大正区役所4階 区民ホール

午後7時開会

○大津区政企画担当課長

皆さま、こんばんは。定刻になりましたので、ただ今から令和6年度第1回大正区区政会議を開催させていただきます。

本日は、公私何かとご多用の中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

本日の司会を務めます、区政企画担当課長の大津でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、着座にて失礼いたします。

午後7時現在、区政会議委員定数14名のうち出席者は12名となっており、委員の2分の1以上の出席がございます。区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項に基づきまして本会議は有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。

なお、本日、姉川委員につきましては、ウェブでのご参加となっております。

それでは、開会に当たりまして大正区長の古川よりごあいさつ申し上げます。

○古川区長

皆さま、こんばんは。大正区長の古川でございます。

ご多用中こうしてお集まりいただき、誠にありがとうございます。

今日は、今年度第1回目の区政会議ということでございます。議題といたしましては、大正区の運営方針の振り返りということで、事前質問をいろいろ頂いております。こちらを中心進めたいと思いますが、もし今日お気付きの点がありましたら、追加の質問等もしていただければと思っております。なにぶんにも運営方針という、非常に事務的な様式に基づいて事業の振り返りをするものでございますので、なかなか細かい話になるかと思いますが、忌憚（きたん）のないご意見を頂戴できればと思っております。

また、議題の2つ目、こちらが非常に厄介な問題です。町会加入促進策についてでございます。こちらは町会長さんが今日は何人か出席しております、日々頭を悩まされている案件でございます。

町会をどうやって運営していくか、会費を取ることに伴いどうやって公平な運営を行っていくか、日々頭を悩ませながら、それでも皆さま、人と人とのつながりをつくるために、決して営利目的ではない任意団体として町会を運営しております。運営方法には正解がないけれども、非常に大切な団体でございますので、こちらも忌憚のないご意見の中で妙案を

頂けたら本当に幸いでございます。区役所としても町会加入促進プランというのをつくつて、皆さまの後押しをしていこうと思っております。どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

そして、今日この会合が今年度は第1回なのですけど、私個人的なことを言わせていただくと、私の区長の任期が最終年、ラスト1年に入っております。なので、私もこうして皆さまと膝詰めでご議論させていただけるのが残り3回ということで、だんだん名残惜しい気持ちも出てまいりました。本当に大好きな大正区のために、「将来ビジョン2025」もつくりましたので、こちらを1つずつ丁寧に施策として推進することによって、皆さまからここで頂いたご意見をなるべく区民の皆さまが喜ぶ形で花咲かせていきたいなと考えておりますので、最後の1年もどうぞよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、今日の議事、長丁場になりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

○大津区政企画担当課長

ありがとうございました。

次に、会議の進行につきましては、お手元に配布の資料ならびにあらかじめお送りさせていただきました資料を基に進めさせていただきます。

議題に入ります前に、その都度資料の確認をさせていただきますが、事前にお送りさせていただいた資料をお忘れの方がいらっしゃいましたら、予備をご用意しておりますのでお申しつけください。

次に、本日の会議は全て公開とさせていただきます。本日撮影させていただきました動画や写真、会議録等は、後日、区のホームページ等で公開させていただきますので、ご了承ください。

また、本日はメディアからの取材申し込みもございまして、メディアによる録音や撮影がありますので、こちらにつきましてもご了承ください。

なお、オブザーバーで毎回参加していただいている出雲市会議員、小山市会議員、金城府議会議員、川岡府議会議員におかれましては、本日は公務によりご欠席と伺っております。

続きまして、令和6年度の人事異動に伴い、新たに着任した職員を紹介させていただきます。

総務課長の嶋原です。

○嶋原総務課長

よろしくお願ひします。

○大津区政企画担当課長

地域協働課長の細川です。

○細川地域協働課長

よろしくお願ひします。

○大津区政企画担当課長

保健福祉課長の貴志です。

○貴志保健福祉課長

どうぞよろしくお願ひいたします。

○大津区政企画担当課長

事務局を担当します総務企画担当課長代理の田島です。

○田島総務企画担当課長代理

田島です。よろしくお願ひします。

○大津区政企画担当課長

どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、本日の議事に入らせていただきます。ここからの議事進行につきましては、議長にお願いしたいと存じます。北川議長、よろしくお願ひいたします。

○北川議長

それでは、着座にて進行させていただきます。よろしくお願ひいたします。

早速議事に入らせていただきます。議題1、「令和5年度大正区運営方針」の振り返りについて、区役所より説明をお願いいたします。

○大津区政企画担当課長

それでは、議題1についてご説明いたします。事前に送付しております書類番号1、「令和5年度大正区運営方針」、縦書きの資料でございます。および書類番号3、区政会議委員からの事前質問、意見に対する回答をお手元にご準備ください。横書きの資料になっております。

今日配ったほうが最新になります。右側に6月13日更新版と書いてあるほうをご用意いただければと思います。

今回、令和5年度の区政運営について振り返りを行い、自己評価を策定いたしました。書類番号1、「令和5年度大正区運営方針」では、自己評価に係る部分を色付けしております。なお、資料につきましては、事前にご確認いただき、事前質問に対する回答も書面にて行っていますことから、詳細の説明は割愛させていただきます。

運営方針の自己評価について、委員の皆さまからご意見を伺いたいと思います。

○北川議長

それでは、ただ今区役所から説明がありました令和5年度大正区運営方針の振り返りについて、何かご質問、ご意見等ございませんか。まず、事前質問のありました北方委員さん。

○北方委員

地域で支え合う安全なまちの部分で書かせていただきました大正高校とか、今後閉校になる泉尾工業高校について意見言わせていただいたんですが、これ以前も大正高校は中之島図書館の所管の下にというようにお聞きしていたんですけども、あの大きな建物の中

でどんだけの部分を使ってるかというのもあまり聞いてなかつたし、私、犬飼ってるんで、犬の散歩での辺によく行くんですね。そうしたら、かなり大きな大正高校、私たちもあまり関わってなかつたんですけど、かなり大きな土地なんですね。それを図書館の本を保管しているということで、かなりの部分が放置されている部分があると思うんです。

建物って使わなかつたら何もならないですよね。せっかく大正区に根差した学校なので、何かの形でということで、私これ書かせていただいたんですが、役所の人たちが考えるだけじゃなくて、区民がどういう具合に思っているか、区民の気持ちも聞いたほうがいいと思うんですね。考えるのって人数が少なかつたらちょっとしか考えられないから、やっぱりみんないろんなこと思っていると思うんですね。

ここに回答していただいた3階以上を津波にと書いてありますが、津波というのはめったに、いつかはあるかも分からぬけど、めったにあるものじゃない。そうしたら、通常はどういうふうに使うかというのは、やっぱりもつたない。今後、泉尾工業にしても、何も考えなかつたらもつたない。管轄が違うといつても、大正区にあるものだから、大正区がもっと力を入れるというのかな、いろんなお部屋、クラス編成でいろんな部屋があつたりしたら、その部屋を貸し出しそうとか、運動場を貸し出しそうとか、いろんな考えがあると思うんですね。そういう意見をみんなに聞いたほうがいいと思うんですね。少数の人数で考えたって知れたことだと思うんです。

公園のことはちょっと納得させていただきました。今すごく雑草刈っていただいてるんで、おいおい気になったことはまたお知らせさせていただきます。

以上です。

○北川議長

はい、ありがとうございました。それでは、ただ今の意見につきまして区役所のほうからご回答お願いします。

○大津区政企画担当課長

まず1点目、もと大正高校で中之島図書館の蔵書をどの場所にどれぐらい保管しているかというところにつきましては、申し訳ございませんが、ちょっとそこまで把握をいたしておりませんので、大阪府に確認をさせていただきます。

あと空いているお部屋を有効活用できたらいいのではというご意見もいただきましたけれども、その可否についてもあわせて確認させていただきます。グラウンドは、地域型の総合スポーツクラブだったと思いますが、そちらが主になって使用しているとお聞きしております。

泉尾工業につきましては調べてみたところ、まだ正式な決定ではないと思いますが、生野工業、東淀川工業、泉尾工業の3校が統合するということで、大阪府のほうで協議がされておられるようです。

今出ている資料でいきますと、令和10年度、2028年度に3校が統合されて新工業高校

が開校する予定ということになっており、泉尾工業につきましては、その新しい高校が開校した年からいわゆる募集停止ということで、新1年生の受け入れをしないということになっているようです。計算が間違っていなかつたらですが、2028年度から募集停止が始まりますので、2030年度、令和12年度には泉尾工業の生徒が全員卒業するということになります。その後、泉尾工業の建物につきましては、基本は売却だと思いますが、もしかしたら例えば大阪府で持つておられる施設が老朽化したため、転用して使うということも考えられますので、そのあたりは状況が分かり次第、ご報告はさせていただきたいと思いますし、区として何か利用できないかというようなお声がけのほうもしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

○北川議長

はい、ありがとうございます。もう一方、事前に意見のありました中島委員。

○中島委員

皆さん、こんばんは。ちょっと期日ぎりぎりになって、慌てて書いたもので、言葉尻がちょっとまずいなと思うような部分が多々、今見直して思うところがありますのでご容赦ください。

まず、運営方針の中で経営課題5というところが、私は地域の町会長をやっているもので気になって、これに対して申し述べた次第です。区民まつり、確かに知っています。スポーツ大会があること、私は知っています。こういったイベントを我々も、それから地域のまちづくり実行委員会の皆さんも一生懸命携わっておられる方はよく分かっていて、苦労されているのも知っています。それから、区役所からの応援もかなりしていただいている、それも十分分かっています。

ただ、私の実感として、例えば私の町会の中で、この区民まつりに参加した人、何人いるかなと。ここに23%というふうに書かれているんですが、実感としてはないです。10%も多分ないでしょう。町会に100人いたとしたら、そのうち10人が役員以外で来てるかといったら、そうは思えないんです。スポーツ大会もそうです。

そういうことを実感している中でなぜだろうと考えたところ、それが本当に区民たちが求めてる事業なのかどうかというのもう一度考えて、もしどうしてもこれが絶対区民が求めるはずだということであれば、それが納得できるような我々の動き方、それから区役所からの働きかけというのは必要じゃないかなというふうに思ってここに意見として出させてもらいました。

以上です。

○北川議長

ありがとうございます。それでは、この件につきまして区役所のほうからよろしくお願ひします。

○細川地域協働課長

地域協働課長の細川でございます。ご意見ありがとうございます。

私も4月から担当したもので、ちゃんとした答えができないかも分かりませんけれども、区民まつり等のイベントが実際、本当に区民が望んでいるものなのかというご意見ですが、区民まつりにつきましては、区民主体での運営ということで実行委員会を立ち上げて、幅広い世代の方に参加していただけるような形で、内容のほうも皆さんで考えながら行っているところです。区民まつり自体が本当に必要なのかというところについては、どういうふうに判断してここまで来たのか今お答えすることができないんですけれども、できるだけ区民ニーズに即した形で実施していけるように考えていただいていると思っています。

あとスポーツ大会につきましては、以前にはジョギング大会というのをやっていたんですけども、コロナ等でいったん中止になっておりまして、またそういうスポーツの大会をというお声もあったということもありまして、スポーツ大会を開催することになったんですが、こちらについては確かに内容的にも参加する対象者が限定されたりと、幅広い世代の方に参加いただけたかというと、そうではなかったかと思っております。

ご意見にも頂いているとおり、何を目的に誰のためにするイベントなのかということを区民に伝える手段が足りないのではないかということですので、広報についても十分にでけてなかつた部分があるんじゃないかなというふうに思っております。今後その部分もしっかり広報していきながら、参加意欲を高めてイベントをやっていきたいと思っております。

よろしくお願ひいたします。

○北吉副区長

副区長、北吉です。

多くのイベントの中でも区民まつりについては、多くの団体のご協力を頂いて、実行委員会にも地域団体の方、企業の方々、さまざまなNPOの方々も含めて参加していただいて、協議して、千島公園も含めて盛大にできていると思っています。

今年度、区民ギャラリーにおいて、第1回からの区民まつりのポスターの展示を行ったところで、どれだけの方に見に来ていただけたかは、心もとないところがありますけれども、改めて私も見て、区民まつりの歴史も実感したところで、昨年の区民まつりは市長も来てまし、市の中でもかなり多くの方々に知っていただいているイベントとして、ここまで来ていると思うんですけども、より多くの方に来ていただけるような工夫や周知は引き続き必要と思っているところです。

○北川議長

はい、ありがとうございます。中島さん、いいですか。

○中島委員

すいません、より多くの方に来てもらうのが目的ではなくて、何のためにやるのかということが私は少なくとも理解できない。例えば昔、お祭りといったら、やっぱり五穀豊穣を願って、みんなが幸せを願ってお祭りをするんだということで、その代表者の方たちが一生懸

命準備をして、まちぐるみでやつていったのが祭りだと思うんですけども、そうではなくて、一部の人たちが一生懸命やつているのをみんなが冷ややかな目で見てるような祭りだったら、正直言って祭りではないような気がします。

だから、それよりも対象者を思い切り絞つて、例えば今回は若い世代、中学生、高校生たちに来てもらうんだと。それで高校生たちに大人たちが一生懸命こんなことをやつているんだということを見せたいというようなイベントをする。そういうことであれば目的がありますよね。大人たちと子どもたちとの絆をつくるとか、それから高齢者たちを大事にしたい、高齢者たちがここにこと笑つて集えるような、そういう機会を設けるんだということで、今回こういうふうにしますというんであれば、それもまた意味が何となくあるような気がします。

でも、祭りありきで物事をやらなきやいけないこととして動かすんではなくて、何かそこに意義とか、それから価値とかいうものを見いだしていったらいいなと思いますので、すぐには無理かもしれません、近い将来にそういった区民のみんなが納得できるような祭りであったり、スポーツ大会を開催していただけたらなというふうに思っております。

○古川区長

私のほうから包括的にお答えさせていただきます。

今、議題にさせていただいているのがコミュニティ育成事業という事業の振り返りなんですね。この事業は、例えば書類番号1でいうと一番後ろの裏表紙に相当するところに付いています経営課題5ということで論じているんですけど、これは人ととのつながりを促進して、地域活動にこれまで関わりが薄かった人などに地域に出てきてもらう、こういうつながりづくりの事業でございまして、中島委員がおっしゃるように、例えば福祉のためのイベントですか、子育て世帯向けのイベントとかいうのは、それぞれ別の事業でやっています。

なので、そこはしっかりとターゲット別の企画、イベントとして押された上で、つながりづくりにフォーカスする事業として、実行委員会形式で区民まつりをして、2万人とか主催者側では言っておりますが、そんな規模の人がまず表に出てきてもらうと。皆さんの顔と顔が見える関係の場所にまず出てきてもらうと。このような取組としてやつていただいているという側面、その目的の違いがあるということはご理解いただきたいと思っております。

その上で、個々のコミュニティ育成事業がさらにどういう形で運営されるのが、この事業の帰着点として一番ふさわしいのかということをちゃんと把握しながら、意識しながら、広報等に努めていく必要性について、頂いたご意見の中から感じた次第でございます。ご意見ありがとうございます。

○北川議長

はい、ありがとうございました。他の方どなたか。はい、堀江委員。

○堀江委員

私も連合会長をしていまして、中島さんの話も北方さんの公園の話、また学校の話も痛いほ

どよく分かりまして、例えば学校のことは私、三軒家東におりますから、確かに大正高校、空き家と言ったら怒られますが、空いたままで、何しとるんかなと。ほんまに月に1回通るか通らんか程度で分からんことで、これは大正区全体がやっぱ考えていいかなあかん。大きい土地がもったいないわけです。

それと公園の掃除のボランティア、私も三軒家公園で水やりしたりいろいろ。これは、私は好きでやっているだけのことですが、例えば昭和山、いつも言っています、大正区の象徴の公園です、山ですから。こんな公園が草ぼうぼう、それが一番さみしいなと思うんです。本当に朝の5時から昼でも木陰、一生懸命散歩されたり、将棋されたり、いろんなことされていますから、区役所の方も本当に昼でも一遍行って、どれだけの方歩いておられるのか。

確かに昭和山1つ入ると、真夏でも涼しいです。やっぱり木があります。ですから、そういうところで例えばボランティアの組織を立ち上げて、どなたか今おっしゃるようにトップ取って、月火水誰かがここをやろうかとかすれば、もっともっと。今でも一生懸命草抜いてくれていたり、私いつもしだれ桜のところでラジオ体操6時半ぐらいしていますが、30人、40人集まっていますが、そこの管理いいますか、90歳の方です。一生懸命雑草掃除して、草刈ってやっておられます。表出るのは嫌やから、表彰したるがな言うても、いや、そんなの要らんという話でやってはりますけど、そういう組織を立ち上げるとか、何かそこらを見ていかんと。

例えば泉尾東が、何本でしたかな、クチナシの花が2,000なんぼやったかな、1,000なんぼかちょっと忘れましたが、ぶわっときれいになって、ものの2カ月で半分雑草が。やっぱり管理できていない。

せっかくグラウンドをきれいにしたのに、こどもが遊んでうるさいと言われたから、野球のチームも練習せんようになった。宝の持ち腐れ、もったいない話やと思う。これは、やっぱり全体が考えていいかなあかんことやと。とりとめのない話になっていますけど。

それと、例えば区民まつりの話もおっしゃるとおり、我々も実行委員で呼ばれていますけど、メンバーがいつも一緒ですから、今おっしゃるようにもっと若い方が参加できる時間にする。いつも2時に集まれと言われて、区役所の会議2時が多いんです、ぶっちゃけたところ。何で2時にするんやと。僕まだ小さい会社ですが、たいして仕事してませんけど、うろうろして、2時に会議されて、いつも言うてますけど、もう昼からの約束何も取れんわけ。

そんなところで、例えば南さんとか現役の方が来て会議に出てって、それは無理な話です。我々の年代の連合町会さんでも、もう引退された方、2時でのんびりでええと。僕、それじややっぱりいかんと。やっぱり5年先、10年先考えて、やっぱり6時から会議、町会長さん集まつもろて、サラリーマンの人でもできるようなことをやっぱ根本的なところから全部変えていかんとあかんと。

ですから、僕ら反対に朝の9時から会議してくれたらええ。午前中で終わって、昼から飯食いに行こうが、飲みに行こうが、仕事しようが、できるわけですから。2時なんて言われ

たら午前中に約束しても、下手に遅れたらいかんなと思ってたいしてできん。終わって3時、4時といったらあと何もできん。

そういうことからやっぱり、ほんまに大正区を良くしようということであれば、やっぱり今おっしゃるように、例えば大正高校あれだけ長いこと空き地になってるというの、我々ほんま実感ではないわけですわ、本当にね。スポーツ大会する時に駐輪場造つとるな程度のことになってしまっていますから、非常にもったいない話やなと思います。

それとやっぱり公募区長の4年というのも実際正直短いから、何もできへんのかなという実感が皆お持ちやないですか。僕も憎まれ口言うて申し訳ないですけど、やっぱりそこらも考えて長期的に。連合会長して2年一生懸命勉強して、4年で終わったら何もできへんと一緒にですわ。それはやっぱりもっと大きいことですから、同じような感覚で大阪市全体のことから何から。公園局もみんな下請けに出して草刈つたらええわというだけなしに、草刈るのもやっぱり愛情込めて一生懸命根から取ってくれたりしたらだいぶ違うんでしょうけどね。そこらも1つ含めて、きつい話をしましたが、よろしくお願ひします。

○古川区長

たくさんご意見を頂いたので、まとめて私のほうから。

まず、昭和山のことに関して、区民の憩いの場としてたくさんの方にご利用いただいています。朝のラジオ体操で頻繁にご利用いただいている堀江委員としては、たくさんのご意見をお持ちだと思います。

それで、やはり雑草の管理とかは建設局も困っていて、私のところに足繁く通ってくれて、協議もしています。やっぱり大阪市全体で予算が足りないんですよ。「刈ってくれ」というところに全部応えていたら、今の倍じや利かないぐらいだと思います。それで順番を付けて、優先順位を付けて回っているんですけど、それでは刈り切れない、あるいは整備し切れない。特にグラウンド形式のところなんかは、やはりたくさんの利用者がいないと雑草も伸び放題になってしまふということで、利用促進の部分と合わせ技でやりたいということを建設局は言っております。このあたり、公園が平日も含めて頻繁に使われるよう、いろんなにぎわいづくりを建設局も考えておりますので、区役所もどんどん意見を出していきたいと思っています。

それから、区民まつり実行委員会は、私もいちメンバーというのか、来賓というのか、それで呼ばれている形なので、ぜひ委員の皆さん、堀江委員も含めて実行委員会に所属されている方が、会の運営そのものの工夫についてはご意見を仰っていただければと思います。区役所側で直接進め方を議論できないものですから、よろしくお願ひしたいと思います。

あと高校の利活用とか跡地の利活用含めまして、やっぱり区長の任期が短い、足りないというのは私が一番実感しておりますので、ぜひ2期連続で大正区長になれるような新制度を要望していきたいと思いますが、今のところは4年というふうに区切られております。何とかその期間内でできる範囲で頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたしま

す。

○北川議長

はい、ありがとうございます。北方さん。

○北方委員

先ほど私が言っていたことなんんですけど、公園の雑草とかの意見、今区長さんが言われましたよね。いろんな人の意見聞いていたらきりがないという感じでね。でも、私、委員に参加したのは何でかと言ったら、やっぱり高齢者が多い大正区、それがすごく問題視されているというところにすごく気になっていたんですね。

何で高齢者を生かされないのか。高齢者を守るだけじゃなくて、元気な高齢者もいっぱいいるのに、何で高齢者の舞台をつくってあげないのか。舞台をつくったらモチベーションも上がって、自分の健康管理にだけしか目を向けへんような老人ばかりじゃないと思うんです。今何も舞台をあげへんから、自分の健康に目を向けて、病気にならんようにとか、そんなことばっかり頭にあるのは、やっぱりモチベーション上がる何かが、舞台がないからだと思うんですね。

何とかの委員とか何とかの会長とかいう人は一握りの人ですよね。老人はいっぱいおるのに、その元気な老人たちがどういうふうにしていったらいいか。私、一番最初に意見を言った時に、雑草ボランティアやったらええって言いましたよね。あれって今、ここで書いてあるのを聞いたら、泉尾公園のボランティアがやっている。私も泉尾の近くに住んでいるのに知らなかった。

そうしたら、ボランティアのグループをもっとみんなに知っていただく。やりたい人いっぱいいると思うんですよ。ボランティアばっかりは私あまり好きじゃないんですけど、やっぱりモチベーション上がるためには少しの報酬というか、そんなにたくさんあげなくてもいいから、ちょっと心持ちのものをしてあげるというのも、すごく1つのモチベーション上がることなんだから、もうちょっと上手に、年寄り、年寄りってひとまとめにやるんじやなくて、やっぱり元気な年配の方を引きずり出す。そうしたら、元気な大正区ができると思います。

こどもが少ないからって、そっちのほうにはばかり目を向けるんじやなくて、今ある資材、資材言うたら変やけど、高齢者を利用するという言葉は悪いんですけど、それを考えるのもすごく大切なことだと思うんですね。

○北川議長

はい、ありがとうございます。

○古川区長

お答えいたします。元気な高齢者がたくさんいる、そのとおりなんですよね。たぶん病気で伏せっている方のほうが数えたら少ないぐらいだと思います。特に大正区は高齢化しているとは言われますが、本当に地域の皆さん元気で、そしてコミュニケーション能力が高い。

なので、出てきてくださったら本当にいろんな活動、活躍をしていただいている。姥委員もうなずいていらっしゃいますけど、女性会や民生委員、いろんな会にも女性が参画して、本当にいろんなイベントもやっていただいております。

そのような中で、例えば一般の、地域の役とかに就いていない方でも、委員がおっしゃったように、モチベーションが上がるよう少しの報酬を出して、地域活動に参加してもらうというのはありだと思っています。

実際、その仕組みはあって、例えばシルバー人材センターに登録するとか、それから区社協では「ちょこ助」といって、本当に小さなお仕事を小さなお値段で引き受ける担い手の募集とかもしております。だけど、集まらないんですよ。仕組みがあってもやっぱり集まらない。どういうことかというと、そこにどんな喜びがあるのかという実例をどんどん見せてもらうとか、発信するということがやはりちょっと足りてないのかなということはおっしゃるようになります。

なので、元気な高齢者を、いま「資材と言ったら怒られるけど」と仰っていましたけど、まさに「地域資源」という言葉があるんです。嫌な言葉だから使わないようにしようと役所のほうは気を遣いながら言っているんですけど、地域資源と呼ばれる本当に貴重な人材は、もはや高齢化した日本の中では、高齢者こそが一番の地域資源だと思っています。ですから、その方たちが本当に喜んで達成感を持って活動に参加していただくような仕組み、それは幾つかあるので、それをしっかりと周知して、その喜び、こんなに楽しかったよというのを発信してもらうことが大事かなと思っております。気持ちとしては全く同じです。

○北川議長

はい、ありがとうございました。時間に制限がありますので、発言できなかつたご意見は、後日ご意見シートにて提出をお願いいたします。

それでは、これにて議題1を終了させていただきます。大変貴重なご意見たくさん頂きまして、ありがとうございました。これらの意見を今後の区政運営に生かしていただきたいと思います。

それでは、次の議事に移らせていただきます。議題2、町会加入促進について区役所から説明をお願いします。

○大津区政企画担当課長

続きまして、議題2についてご説明いたします。事前に送付しております書類番号2、大正区町会加入促進アクションプラン（案）（R6～R8）、先ほど見ていただいたおりました書類番号3、区政会議委員からの事前質問、意見に対する回答をご準備ください。

事前質問に対する回答につきましては、先ほどと同じく書面にて行っておりますので、詳細の説明については割愛をさせていただきます。

それでは、大正区町会加入促進アクションプラン（案）の詳細につきまして、地域協働課長の細川よりご説明申し上げます。

○細川地域協働課長

それでは、私から大正区町会加入促進アクションプラン（案）について説明をさせていただきます。

1ページをご覧ください。目的と背景でございますが、大阪市では町会への加入世帯数が減少し続けていることから、大阪市24区での加入率向上を目標と定めまして、大阪市町会加入促進戦略を策定いたしました。

一方で、区や地域ごとにその特性が異なる状況から、大正区において優先順位を決めて効果的に取り組むため、大正区町会加入促進アクションプランを策定いたします。

2ページをご覧ください。大正区の町会加入率の状況でございますが、大阪市の平均よりは高い水準ではございますが、年々加入世帯数は減少し続けている状況でございます。

続きまして3ページのほうをご覧ください。課題でございますが、大正区は24区で最も人口の少ない区であります。人口は今でもどんどん減少を続けている状況です。また、高齢化率も上昇しております。右の図にもありますが、自然動態の減少が顕著な状況となっております。

続きまして4ページのほうをご覧ください。これまで実施してきました区民意識調査におきまして、町会が中心となって活動しているまちづくり実行委員会の活動状況について、広く認知されていないという状況がうかがえるような結果が出ております。このようなことから町会やまちづくり実行委員会の活動について、やはりもっと知っていただく必要があると考えております。

6ページをご覧ください。こちらは、大阪市24区が共通して取り組む内容となっております。大きく3つの戦略に分かれておりまして、まず戦略①が集合住宅への働きかけの徹底、戦略②が「町会プロモーション」の徹底、こちらについては町会のことを知っていただくための取組となっております。戦略③ですけれども、「次世代型の町会」のモデル導入と展開の支援、こちらにつきましては、現在の町会の課題等の解決と効率的な町会運営事例を収集しまして、町会のほうへ情報提供するというような取組でございます。

右側に細かな具体的な取組がございますが、こちらについては資料の参考2の大阪市加入促進戦略のほうに詳しく記載がございますので、またご参照いただければと思います。

続きまして7ページをご覧ください。先ほどの共通の取組の中から、大正区におきまして特に優先的に取り組む内容を記載しております。

まず取組1としまして、集合住宅等に向けた町会加入促進広報物の配布・提供でございます。こちらにつきましては、集合住宅などに向けた広報物を作成しまして、各町会の意向もご確認しながら、広報物の配布や町会の意義、活動についての説明などを町会と連携しながら行ってまいりたいと考えております。

取組2ですけれども、こちらについては効率的な町会運営事例の収集・共有でございます。他区や他都市などの効率的な町会運営事例を収集いたしまして、各町会に情報提供をする

ほか、またその情報提供した中身からその事例を導入されたいというようなご相談がありましたら、そちらのほうを支援していくというような取組となっております。

最後に8ページをご覧ください。こちらにつきましては、区の特性に応じた重点的な取組としまして、町会加入促進チラシ・ポスターの充実でございます。これまでさまざまなアンケートから、区の広報紙やバス停に貼られているポスター・チラシから情報を得たという区民の方が多いという結果が出ております。このようなことから、町会の活動や町会が中心となって活動されているまちづくり実行委員会の活動内容など、区の広報紙で掲載をいたしまして、またバス停も活用し、そちらにチラシ・ポスターを貼るなどして、町会の認知度の向上と町会への加入促進に向けた取組を行ってまいりたいと考えております。

簡単ではございますが、説明は以上でございます。アクションプランを策定いたしまして、各町会での取組を支援いたしまして、協働で加入促進に取り組んでまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

○北川議長

はい、ありがとうございます。それでは、ただ今の区役所からの説明の中でのご意見等ありますか。それとあと簡潔にできるだけ手短に、時間が迫っておりますんで、よろしくお願ひいたします。

まず、事前質問の中島委員。

○中島委員

私の率直な意見からすると、ようやく動いてくれたのかなというのが本当の率直な意見です。町会というのは、全くのボランティアです。100%、私もそうですし、当然北川会長、町会の役員をされている方というのは一銭ももらっていない。こういう方たちが大正区に何百人もいるんですよね。それを区役所、大阪市は無償で使うことができる。役所にとつてこんな便利な組織はないんですよ。しかもみんな一生懸命やります。

そういうのをやっぱり応援するべきだと僕は思っていたので、何でみんな知らないんだろうと。町会があることすら知らない世代がいっぱいいるだろうというふうに思っていたので、いろいろと動画とかユーチューブとか見ると、各都道府県、市区町村で町会の歌とかつくり、いろんなイベントを、町会の促進のためのイベントというのが大変多くなる。それは、3.11事件、地震の後、特に各地域で広まっているように思うので、今後も広めていっていただきたいなというふうに思います。それが意見です。

以上です。

○北川議長

ありがとうございます。今の意見について区役所からございますか。

○細川地域協働課長

ご意見ありがとうございます。今回、加入促進アクションプランを策定するにあたって、各連合会長の皆さんにご意見を伺うのとアクションプランについて今こういうたたき台を

考えていますということで、ご説明に回ってお時間頂いて聞いてきました。

その中で、どの地域も本当にそれぞれ状況が大変な中でも、それぞれの思いを持って、いろいろ考えながら取り組んでいただいておりました。これまで町会と地域活動協議会であるまちづくり実行委員会との区別がつかなかったり、町会についてが分かりにくい状況で、皆さん、知らないとやっぱり加入にはつながらないと思います。まずは知っていただくところから始めないといけないと思っております。

これから広報紙もですけれども、ホームページ等もしっかりと見直していきたいと思っておりますので、またご意見頂きながらやっていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○北川議長

はい、どうぞ。

○北吉副区長

昨年の10月号ですけれども、大正区の広報紙は、多くの方に読んでいただいていることもあります、1面全体を使って、上段がまちづくり実行委員会で、下の段が町会の枠として、町会長の顔写真を掲載させていただき、身近なつながりをつくりたいと思ったら町会に入りませんかということを記載させていただいたり、上段の地域まちづくり実行委員会の枠では、ホームページやLINE、フェイスブック、インスタグラムのQRコードも付けたところです。

私自身もいろいろ町会に関する報告書や本をいろいろ読むんですけれども、書いてあることは、若い方も参加してもらうにはデジタル化も必要だということや、町会の大切さを伝えるには、いざという時の助け合い、防災の観点も大事というような話が多くあったところで、10月号の広報紙でQRコードを載せたんですけれども、地域活動を広く知っていただいて、QRコードから入っていただくような方が増えたらいいなという思いも込めてつくったページでもありますので、この場でも報告させていただきます。

○北川議長

ありがとうございました。他にどなたか。はい、南委員。

○南委員

すいません、南です。よろしくお願ひします。

僕、個人的に身近な知り合いは別に要らないかなと思っちゃいます。若い人、多分、身近な知り合い要りませんかと言ったら、あまり要らないですと言っちゃうと思うので。僕、3期目なんですけど、町会に入ってないんです、すんません。

僕が初めて町会に入らなかん、入ったほうがええなと思ったのは、港区の防災ミーティングに参加した時に、港区長の山口さんが昼間働いている人は避難の想定人数に入っていませんという発言があった時に、じゃあ、僕、大正区に住んでいるけど、港区で働いているので、港区で働いている間に何かあったら助けてもらえないんだなと。僕らのことは想定に

入ってないんだなということを知つて、これはいかんと。

うちの社員さんを守らなあかんから、周りと協力して避難訓練やら何やらしなあかんなというところで、備蓄倉庫もどこに置くねんと。うちの社内のどこに置いたらいいねんみたいのが分からないので、地域の人で連携して、高いビルのところにみんなの食料を置いてもらおうとか、そういう連携がないと、多分、自分の会社の身を守れんなと思ったので、これは住んでいる大正区じゃなくて、企業として港区の町会に入らなあかんと初めて思ったんですね。

なので、僕も経営者をやらせてもらつていて、正直1日16時間ぐらい会社にいるし、会社のことばかり考えているので、あまりプライベートのほうに意識が行かないで、やっぱり企業の町会誘致みたいなことをすれば、それは結構。費用面も企業にしたらたいしたことないですし、企業のほうやつたら、僕らも入ろうかなみたいのがあるのかなというところがあるので、企業が町会に入るというところの立て付けが僕もあまり分かっていないんですけど、そこら辺をもうちょっとPRしていつたら、じゃ、入ろうぐらいの感じにならへんかなと思うんですけど、その辺を教えてもらえたうれしいです。

○北川議長

ありがとうございます。それじゃ、よろしくお願ひします。

○北吉副区長

ご参考になるか分からないですけど、区役所からのPRはまた考えていかないといけないと思いますが、大阪市地域振興会のホームページでは、トップページのところで「ご存知ですか？ 地域振興会・赤十字奉仕団」という項目の中で、「商店や事業所なども構成員です」ということが書かれており、「一般の家庭だけではなく、商店や事業所、事務所、それに単身者の方もまちづくりの大切なパートナーです」と書かれています。広く知っていただくような努力は区役所も必要かと思っております。

○北川議長

はい、ありがとうございます。じゃ、姥委員。

○姥委員

すいません、姥です。

この町会加入というのは、私、大正区社会福祉協議会の嘱託職員でちょっとだけ行つていて、どうしたら皆さんに町会に入つていただけるかなという議題が出たんです。その時に、区役所の方に例えば大正区に転入してきました窓口で、町会に必ずとはちょっと言えないんで、町会がありますので町会に入るよう区役所の方からちょっと勧めてもらつたらいいんじゃないかなという案が出たんです。

それがなしのつぶてか、今日初めて大々的にこういうのがあるって、ちょっとうれしく思いました。あの時は全然進まなくて、私個人でも自分のところは管理組合があって、管理組合の管理費から毎月100円を町会費として払っています。そうしたら滞納もなく、スムー

ズに町会も運営できています。ただ、お金が余り過ぎて、これはどうかなというのがちょっと疑問に思います。

やっぱり一軒家の方、若い方、また高齢の方、町会に入っていますかと聞いたら、町会って何って、この間も若い方に聞かれました。回覧板は回っていますかって聞いたら、回覧板は回っていません、町会費払ってないから回覧も回らないのかなと思ったりして、そこは小さいマンションだったんで、ぜひマンションの方に町会に入るようになんと言つてもらえないかとはお伝えしました。

本当に大阪市挙げて町会の加入、うれしく思います。

○北川議長

はい、ありがとうございました。それでは、区役所、どうぞ。

○細川地域協働課長

ありがとうございます。先ほどありました、転入してきた方についてですけれども、この共通の取組の中にあるんですけれども、転入者パックの中には今も大正区でも連合会長様の名前とか連絡先を載せて、自分の住所を探したら、どなたに連絡すればいいのかが分かるような地図は入れさせていただいて、それは継続してやっているところでございます。

あと、やはり町会って何ですかと、入っていない方に言われるようですので、町会はこういうものだと分かりやすいような、視覚で分かるようなチラシとかを作っていくほうがいいんじゃないかという地域からのご意見も頂きましたので、そういうところも検討していきたいと思っております。よろしくお願いします。

○北川議長

はい、ありがとうございました。他にどなたかございますか。はい、藤田委員。

○藤田委員

藤田と申します。よろしくお願いいたします。

多分していらっしゃるんだと思うんですけど、全国で町会加入率が高い市町村とか、そんな統計があるのかどうか分かりませんけれども、そういったところがあったら、なぜ高いのかというものを参考にできる可能性もあるのかなと勝手に思っております。

私は、今、特別養護老人ホーム幸楽園というところで勤めていますが、新型コロナがはやり始めた時に、アベノマスクといって布のマスクが配られましたが、幸楽園 81 人の入居者とショートステイの方 9 名分の 90 名分のベッドがあるんですが、届いたのが 3 枚か 4 枚ぐらいだったんで、これはきっと町会に加入してないからだろうというふうに判断いたしております。

以上です。

○北川議長

はい、ありがとうございました。

○細川地域協働課長

ありがとうございます。今後、本当に加入率の高い市町村とかの事例を参考にしてまいりたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

○北川議長

はい、ありがとうございます。では、木幡さん。

○木幡委員

木幡でございます。私は大正区民になってちょうど2年ぐらいになるんですが、平尾におるんですが、ようやくこの4月に町会に入会することができました。ずっと町会に入らなかんなと思いながらも、どうしたらいいかという手段が全然分からなくて、たまたま地域のお米屋さんが町会長さんになられて、個人的にインスタグラム、SNSでつながって、今回町会長になったんで加入いただけませんか、そうなんですか、ずっとどうしようかなと思っていた、どうしたらええんかなと思ったんですけど、ようやく入れますわという、そんな感じなんですね。

先ほど窓口で住民票を移した時も、多分2年前やつたらあったんですかね。そのパックというのは。

○堀江委員

何年も前からありますよ。区役所も我々も皆さん、姥さんもベテランやのに、そんなんどんなんがあるかいうの知らんということはやっぱり徹底もされていない。例えば町会長会議や社協の会議には、引っ越しされた方のセット何枚かこんなんあるわね。

だからこなん配っていますということをPRも、それこそこういうベテランの方にしてへんからこんな結果になってる。姥さんが知らんというのは情けない話、反対に。

○北吉副区長

かなりいろんな種類、20種類ぐらい入っていて。

○堀江委員

だからその中の1枚で見てへんねん、現実はね。

○木幡委員

ひょっとしたら見落としたかも分かりません。入れていただいたのかも分かりませんけど。

あと、もともと今住まいしているところは、不動産屋さんで仲介いただいたんで、逆に民間の不動産屋さんがそんな案内してくださってもええのんちがうかなと、不動産屋さんにもそういうご協力を頂くというのはできへんのかなと。ちなみに大正中央不動産さんというて大正区で結構いろいろ扱っておられるところで、区政にも協力的な不動産屋さんやと思いますんで、そういうところにも協力を求められてもええんちがうかなというのは素直に思っています。

私も以前、大阪狭山市に10年ぐらい住んでいまして、私も一回だけ自治会の副会長やつたことありますて、それまでその自治会組織のことも全然分かってないし、やってみて初め

て分かることがあって、どれだけいろんなことを皆さんご苦労なさっているかというのが分かりましたし、現役で1時間ぐらいかけて通っているものからすると、これはちょっとできへんなというのが正直あって、負担があまりにも大き過ぎたんですけども。

それでも今は職住一体で近所でやっていますから、何かできることが僕らもあるんちがうかなというふうに思ったりもしているんですけど、そのきっかけがなかなかやっぱりなかったというのは、2年間ロスしたんちゃうかなというふうに思ったりもしているので、そういう機会をさらに周知いただくことも結構まだまだあるのかなという気がしますので、ぜひともよろしくお願ひしたいと思います。

○北川議長

はい、ありがとうございます。じゃ、区役所から。

○細川地域協働課長

はい、ありがとうございます。本当にどのようにしたら町会に入れるのかというのは、恐らく今の広報紙を見ても分からぬなというところは、この取組をしながら思っていたところでして、そういうふうに思っていただいている方がたくさんおられるんだと思うので、分かりやすく加入していただけるように取り組んでいきたいと思っています。

あと不動産関係の話なんですけれども、まだ今、大阪市のほうで宅建協会とか不動産協会と地元の不動産業者との連携ということで、連携していく内容の確認等して協力依頼をこれから行っていくということですので、今後、地元の不動産業者さんにもお願ひできることになるんではないかなというふうに思っております。よろしくお願ひします。

○木幡委員

それと私も事業所では町会に入っていないんですね。防災のこととかでやっぱり企業としても、今は区民ですから逆に地域のことがもうちょっと近いんですが、以前は市外に住んでおりましたんで、なかなか事業主が区内にいないと、やっぱり地域のことって全然接点がないので、本当に防災のことを考えると、先ほど南委員おっしゃいましたけれども、本当にその部分というのは危機意識はやっぱり持っているんですよ。防災訓練なんかも結構お休みの日にやられたりしますよね。そうするとなかなかそれだけに出てくるというのがなかなかしにくいところがあるというか、防災訓練の存在自身も多分事業主が認識していないことが多いと思うんですね。

これは、逆にそこに対して訴えかけると、多分事業所はそんな観点から考えると、町会加入の意味合ひって絶対認識されると思いますんで、例えば今ものづくりフェスタで地域の企業が参画されていますけど、うちも町会入っていないんで、正直それやったらすぐ町会入って全然しかりやと思いますから、それだけでも広報していただいたら企業の加入も増えるんじやないかなと思います。

○細川地域協働課長

はい、ありがとうございます。防災の観点は、やはり皆さん関心もありますし、そういう

観点で地域でも防災訓練等に取り組んでいただいているので、そういう活動を知りていただけるような広報をしていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

○北川議長

はい、ありがとうございます。他どなたかございませんか。姉川さん、何かございますか。

○姉川委員

いろいろ議論いただきありがとうございます。遠くから申し訳ないんですけども、今回の本当に皆さんにおっしゃられるように、町会加入の促進プランをつくられたというのはすごくいいことだなと思っているんですけども。僕も今、地元は西区なんんですけども、僕は勝手に町会にマンション一帯で入ったという感じで、そもそもやっぱり何のメリットがあるかというのが分からなくて、皆さんも多分そこが分からぬのじゃないかなというのが1つあって、だからそういうプランというのはやっぱりメリットとして示していく必要というのは、今おっしゃられたようにチラシとかそういう広報でやっていく必要があるのかなと思っています。

あと、他の町会さんはちゃんとされているんだと絶対思っているんですけども、実は僕も町会に入ってて、やっぱり徴収されている以上、どこに何を使ってるかというのがやっぱり分からぬというのも基本あって、今の若い人に言ったらコストパフォーマンスというんですかね、そこで何に対してどう使っているかというのは、やっぱり町会のほうが示していくというのも必要であるんかなというのもあるのと、それをやっぱり区役所とか行政が進めていくならば、行政も一緒になって、やっぱりこれに対してこれだけ使っているという見せ方というのもある意味必要なのかなと思っていて、僕の町会だけなんんですけど、分からぬんですよ、本当に何に使われているかが。すごくいっぱいいろんな行事はされているとは思うんですけども、それがどう使われているかというのは、やっぱりメリットとデメリットというのは、今の特に若い人というのは必要と言ったらおかしいけど、それやったら入ろうかなという思いになるんじゃないかなと思って、そういうところってどうしていったらいいのかなというのは気にはなっています。

○北川議長

はい、ありがとうございます。

○細川地域協働課長

ありがとうございます。メリットについては、やはり何がメリットかというのが分かりづらいというご意見はたくさん頂いておりまして、そちらについてはしっかりと分かるような形で広報もしていかないといけないというふうに思っています。

また、町会費がどのように使われているかというところについては、実際は防災訓練をされたり、地域の清掃活動をするとなつた場合に、清掃活動の道具も必要になりますし、子どもたちの見守りとなると、見守っていただいている方々に着ていただくユニホームも買わないといけない等と、いろんな形で費用はかかるものだと思っていますが、なかなか活動も

分かりづらい状況ですので、何に会費が使われているかというところも分からぬ状態なのかと思っています。会費がどういうふうに使われているかという観点も含めた形で、できるだけ分かっていただけるような広報等をしていきたいと思っております。

○北川議長

はい、ありがとうございます。それじゃ、大石委員、何か。

○大石委員

大石です。

振興町会の当事者として感じたこと、今のこの区の動きで、町会に入りましょう、PRしましょう、メリットを大きく広報で載せましょう、それはうれしいんだと。それで町会の加入が増えればそれにこしたことないんで、私も大きく期待はしているんですけども、逆に行政のほうに聞きたい、区役所に聞きたいのは、町会に入る、勧められますけども、これ義務ですかと聞かれた時にどういうふうに返事されます？

現場でやっているボランティア、もちろんボランティアでやっているわけですけども、その中で町会に入るメリット、デメリットより先に義務ですかと聞かれたら、どうしても義務じゃないんですよね。任意の団体なので、加入、未加入は本人さん次第としか返事のしようがない。そうしたらちょっとやめておこうかなというところも、結構そういう住民の方もいらっしゃる。

ただ、それをあえてじゃ、何かの時にはどうこうという話が、説明ができるかというと、地域で活動とかもちろん、防災の備蓄品にしてもそうですけども、ほとんどが市のほうからの補助金を使って備蓄しているのがほとんどなんですね。市のほうの補助金に対しての内容というか説明にしては、税金が原資ですから、町会に加入、未加入かかわらず、平等に皆さんのために使ってくださいということになると、それが表に出てしまうと、町会に入っているメリットが1つ減るわけですよ。ジレンマに陥るんですね。正直言って、今の町会のメンバー、私もそうですけども、80前後のメンバー。振興町会のメインというか主立ったメンバーは、ほとんど高齢者なんですね。

先ほどどなたかおっしゃいましたね。堀江さんおっしゃったんかな、会議が2時とか3時からでは若い人が出られんでしょう。地域の行事も、確かに行事自体は日曜日なんですよ、ほとんどがね。特定な行事はウイークデーでもやりますけども、ほとんどが日曜日に、皆さん地域の方が出来やすいようにということで日曜日に設定するんですけども、準備の段階、もうもう全ての会議は全部ウイークデーでやらないといかん。

そうした時に、若い人に運営の段階に入っていたけるかというと、それもまた難しい。町会手伝ってもらえませんかとこちらのほうで声かけしても、いや、仕事がねということで終わる。そういう難しい点があるんで、これが何とか好転していくように、少しでも加入していただくようにというのは期待しております。

○北川議長

はい、ありがとうございました。区役所のほうから何かありますか。

○細川地域協働課長

いつもいろいろなご苦労いただいていることかと思います。なかなか難しい部分だとお話を聞いていて思ったところです。

ただ、まちづくり実行委員会は補助金で事業をやっていただいてますけれども、それを中心的になって運営して動かしていただいているのが町会の方々、主な団体ということでもありますので、その団体に加入している方がどんどん減っていくと、結局全体のまちづくり実行委員会の事業もやりづらくなっていくと思いますので、なかなかご理解いただけない部分もあるかと思うんですけれども、町会へ加入していただけるような形で、しっかりとやっていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○北川議長

はい、ありがとうございます。ラスト1人、土井さん。

○土井委員

こんばんは。僕もこの区政会議に参加したて、まちの組織とかをいろいろ勉強させてもらって、本当にボランティアの方々がいろんなまちのことをしてゐるのを初めて知ったこともいっぱいあって、感謝の気持ちでいっぱいなんですけども、僕みたいに知らんかったとか、知らん人間が本当にいっぱいおるんやと思うと、やっぱり善意の方々で良いまちづくりというものが成り立っていることを一人でも多くの人に伝えていくことって大事かなと思って、伝えることによってこういう人がおるから良いまちになるんだ、僕もやってみようかな、私もやってみようかなという声が集まつたら、まちを良くするためにちょっと力を貸そうかという人らが少しでも集まるのかなと思いますね。

町会に関しては、勝手な僕の先入観かもしれないんですけど、ネット上とかでネガティブな情報が多いんかなと思って、南さんも言っていましたけど、町会入ったら隣近所絡んでややこしかつたら嫌やから、ちょっと敬遠するなみたいな声もありますよね。

そういう情報がひとり歩きしているんで、そうじゃないんだよというのをやっぱり継続的に発信していったり、そのためのせっかくインスタグラムも始めているんですから、大正区で、そういうのも活用して、今日もまちのこういう人らがこういう活動してくれていますみたいなのをどんどん知つてもらうことが大事なのかなと思いますね。

SNSに力を入れている自治体なんかは、そこまで数がないと思うんで、そこに全力で力を入れたら、それだけでひょっとしたら大阪市の中でも目立てる存在になるのかもしれませんし、一回注目されればコミュニケーション能力というか、コミュニティ力が高い地域だと僕も思いますんで、本当の良さに気付いてもらえるんじゃないかと。自分事として大正区を捉える人が一人でも増えるんじやないかと思います。

以上です。

○北川議長

はい、ありがとうございます。それでは、南委員。

○南委員

今、町会は善意の人で成立していると思うんですけど、変な人が入ってきた時はどうするかというところの自浄作用では難しいと思うので、何かハードルを逆につくったほうが入りやすかったりもするのかなと。変な人はおれへんでみたいな話に、例えば犯罪歴があつたら入られへんとか、どんなハードルかちょっと僕も分からないですけど、逆に誰でもウエルカムにすると、ほんまに1人変な人が入ってきた時にややこしくなるなというのと、たまに横領の話とかも聞くじゃないですか。そんなんとかもあるので、ウエルカムってやるものいいんですけど、ちょっとしたハードルも必要かなと思います。それがあることでそういう人が集まって安全かなという、逆の入りやすさもあつたりするのかなと思いまして、そういうのも1個つくってみたらいかがでしょう。

以上です。

○堀江委員

姉川さんがおっしゃっておったんだけど、町会費何に使っているか分からんとかという話、私、立場上反論するわけでも何でもないですが、私どもは決算書全部、全所帯、町会費頂いてるところ、全部去年の決算、予算出してますから、それは公明正大にしますし、姉さんのところは町会費が余っているってうらやましい限りで、うちは足らんぐらい使って、堀江会長、使い過ぎといつて怒られるぐらいなんですが、僕は後々に残すんやなしに、今の方にやっぱり町会費集まつたものを何かに還元できるのが僕は一番やなと思っています。

災害のために残すのは必要ですけど、うちも1,000万、1,500万貯まっていましたが、会館の建て替えに使わせてもらつたりしましたけど、やはり残しているよりは全部今の方に使うのと、こどもさん、高齢者含めてね。

それと同時に、町会費は絶対公明正大、使い込みとかそんなんは絶対あつたらいかんことで、僕ら持ち出しのほうばっかりですわ。そういうことも気付けて、現場としてちょっと一言。

○北川議長

ありがとうございます。これは座談会じゃないんで、ちゃんと議長おりますんで、勝手にしゃべらないように、これからよろしくお願ひいたします。

それでは、時間に限りがありますので、発言できなかつた方は後日、ご意見シートで提出よろしくお願ひいたします。

それでは、これにて議題2を終了させていただきます。大変貴重なご意見を頂きまして、ありがとうございます。これらの意見を大正区町会加入促進アクションプランの策定に生かしていただきたいと思います。

本日、予定されている議題は以上で終了とさせていただきます。皆さんには議事進行に大変ご協力いただきまして、ありがとうございました。

○大津区政企画担当課長

北川議長、どうもありがとうございました。

ここですいません、1点皆さまにお知らせがございます。この区政会議でもご意見を頂きました鶴浜地区の利活用につきまして、「こんにちは大正」6月号の2面にも掲載させていただきましたように、6月20日の木曜日の晩の7時から、場所はコミュニティセンターの3階のホールになります。そちらのほうで説明会を行う予定にしております。

参加に当たりましては、特に事前に予約等は必要ございませんので、もしお時間よろしければ、ぜひご出席いただければと思っております。

なお、本件につきましては、近々ホームページとかSNS、Xとかインスタを使っての発信も行う予定にしておりますので、よろしくお願ひをいたします。

それでは、本日配布いたしました資料の中にご意見シートがございますので、本日の会議でご発言できなかつたことや本日の議論を踏まえて改めてご意見、ご質問がございましたらご記入の上、6月24日の月曜日までに提出をお願いいたします。

それでは、本会議の結びに当たり、区長の古川より総括を申し上げます。

○古川区長

本日も長時間にわたりご議論ありがとうございました。5年度の振り返りのほうは、その場でご回答申し上げたところでございますので、町会加入のことで私からまだ補足をしておりませんので、ひと通り答弁のような形でお答えさせていただきたいと思います。

まず最初の中島委員の町会加入の促進を待っていたと、ようやくやてくれたと。町会ほど一生懸命働く無償の組織はないよということで、本当にそのとおりだと思います。その組織というか、地域の宝を持ち腐れにしないためには、やはりたくさんの方が加入していて、そしてそれを知られている状態で運営されていることが大事だと思いますので、副区長から答弁したように、デジタル化など周知にいろいろ工夫を凝らして、若い人の加入も加入促進アクションプランの中で検討していきたいと思っております。

それから、南委員の「自分の会社を災害から守るために何とかしなきゃ」ということで、町会のことを意識し始めたと。これ大事なことでございまして、やはり町会加入のメインの意義というのは防災関係にあると思っておりますので、この辺のPRも引き続きやっていくんですが、事業所単位で加入するという賛助会員のような制度もあるようでございますので、その辺のPRにも努めていきたいと思っております。

それから、姥さんからお話がありましたように、加入促進をなかなかこれまで役所がやるようやらなかつたということで、非常にうれしいという言葉を頂きました。私どももうれしがつてはいる場合じゃなくて、これ本当に大変な課題で、地域の皆さんと一緒に頭を悩ませる課題だなと思っているので、ぜひお力を貸していただきたいのと、やはり転入者パックの周知も足りなかつたことが今日改めて分かりましたので、いろいろな連合町会であるとか、まちづくり実行委員会の際に、今こういうものを現に配っていますというのも改めて周知

し直していきたいと思っております。

それから、藤田委員からお話のあった「町会の加入率が高い市町村はどういうところがあるのか調べてみたら」という提案、これ本当におっしゃるとおりでございまして、今回の促進プランの戦略3というところに次世代型の町会モデルというのを私ども設定しております。その町会の成功事例等を収集して、ストックし、さらにこれを町会の求めに応じて提供すると、こういう目標になっておりますので、しっかり取り組んでいきたいと思います。

それから、木幡委員もようやく町会に入っていただいたようで、ありがとうございます。2年間逆に意識があったのに加入できなかつたことは、本当に機会の損失だと思っておるので、その辺は今まさに町会の役員の方と出会つたのがSNSだったということもありました。やはりデジタル化、SNSの活用などがこういう「今まで知らなかつた」という人たちへの一助となることは改めて分かりましたので、その辺もプランの中でいろいろ策を練つていきたいと思います。本当に大きなヒントを頂いたと思っております。

それから、姉川委員の「町会費がどこに使われているか不明」というお悩みもある一方で、堀江委員のように実際、決算書のようなものを印刷して配つてあるという工夫をされている町会さんもあります。この辺はやはり、こどもの見守りとかお祭りとか、お金が本当にかかります。現にかかっているので、それをざっくりでもいいので、つまびらかにしていくことが大事だなと改めて思った次第でございます。その辺も町会のほうにご指導と言つたらおこがましいので、ご支援を申し上げていきたいと思っております。

それから、大石委員からありました「義務なんですかという問い合わせが一番つらい」と。私たち区役所もそうなんです。これ聞かれたら、実は義務ではないですって答えざるを得ないんですね。なのでこれが加入促進の行動と加入しなくてもいいという行動を同時にやっていけるようなもので、本当にジレンマでございます。

でも、やっぱりジレンマを一番感じている会長様方のご意見を聞いて、そこの部分をどう説明していくのが一番いいのか、また膝詰めで作戦会議をしながら、促進プランを良いものに練り上げていきたいと思っておりますので、お知恵を貸してください。よろしくお願ひします。

あと、町会の会合が平日・日中だと集まれないよねと。この論点に関しましては、例えばPTAさんは夜7時集合とかでやっていますので、その辺の実態も参考にしていただいて、なかなか委員さんたちが高齢化していくと夜がつらいという方も多分いらっしゃるんだと思うんですよね。その辺のどちらを取るのか悩みながら、開催時間等も工夫する必要があるなと感じました。

それから、土井委員の(町会活動は)ボランティアの善意の固まりだという話はそのとおりで、これを知つてもらえば多分、町にも興味が出るし、私もやってみようという人が出るんだろうという、このご意見が一番大事だと思っています。ですから、善意で行つてているこの人たちの魂というか、動機は一体何なんだということ、どこに楽しさがあるんだ、どこに

達成感があるんだというのを伝えていくのが大事で、それが土井さんのご発案だと SNS の発信とか例示としてこれは承りました。ですが、やはりこれを生の声で、実働で動いている会長さんたちがたくさん発信していただいたら助かるなと思いますので、これと SNS 等をかみ合わせてうまく発信できたらなと思います。

最後に、南さんがおっしゃっていたウエルカムだけでやっていくと、会として考えた時には確かに望まない人も加入してしまうという、これも面白い視点だなと思いました。ハードルをむしろ上げたほうがいいというのは面白い視点だなと思いましたけど、今すぐに妙案がないので、またいろいろご意見交換させていただきながら、メリット・デメリットをうまく区民の方にお伝えしていくように工夫したいと思っております。

本日はたくさんのご意見、本当にありがとうございました。7月ぐらいまでかけて町会加入促進プログラムをこれから仕上げてまいりますので、引き続きご意見を頂戴できますように、よろしくお願ひしたいと思います。本日は貴重なご意見、そして貴重な夜の時間を頂戴いたしまして、ありがとうございました。本日どうもありがとうございました。お疲れさまでございました。

○大津区政企画担当課長

これをもちまして本日の区政会議を閉会とさせていただきます。次回の区政会議は9月12日の木曜日の19時より大正区民ホールにて開催予定となっておりますので、ご出席のほどよろしくお願ひいたします。

本日は遅くまで誠にありがとうございました。

午後8時31分閉会